※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学) 世界史 (東洋)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界史探究「詳説世界史」　(山川出版社)						
副教材等	新課程　ニューステージ世界史詳覧　(浜島書店)　自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インド史・中国史に関する王朝の移り変わりを知ろう。
インド史・中国史への興味・関心を高め、主体的に探究していく態度を身に付けよう。
インド史・中国史に関する文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察しよう。

2　学習の到達目標

（１）中国史を中心に東洋史の全体像を理解する。東洋各国の歴史的な結びつきを理解する。

（２）写真や図版を用い、地理的文化的な考察を行うことで、歴史観を養う。

（３）知識、思考力を生かし、古代から近現代のアジア史に興味関心を持ち、現代の日本とのつながりを感じることができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	中国の古典文明	教科書に掲載されている東アジアの地勢図や歴史地図，図版を適切に活用し、中国文明の起源である黄河・長江文明，殷・周時代と春秋・戦国時代の社会変動や新思想の形成を理解し，その基本的な知識を身に付けている。	a：東アジアの地理的特質を把握し，中国文明の起源，殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 秦・漢帝国の意義や世界との繋がりを理解し，その基本的な知識を身に付けている。 b：殷・周時代の文字や秦・漢帝国の皇帝観など，中華文明の重要な要素の出現の意義を考察し，文章にまとめる。 c：モンスーン気候地帯に属している東アジア世界の風土とともに，黄河・長江の新石器文明から殷・周，秦・漢帝国という中華文明形成期の社会や文化の特質を追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業観察
	東アジア文化圏の形成	隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア祖国の国家体制を整備や動向を理解する。	a:唐三彩などの工芸品の図番から、文化の密接な交流の例を調べている。 b:唐王朝が名実ともに東アジア文化圏を形成したことを、その築き上げた国家制度や文化から判断し、文章にまとめる。 c:隋唐王朝の成立が遊牧民と漢人の融合、内陸アジアでの突厥の成立を背景にしていることを理解し、その役和英を日本などの動向とともに学習しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	東アジア地域の自立化	契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交代、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。	a:教科書に掲載されている諸民族の文字や清明上河図などの社会・文化の特色を示す写真・図版などを適切に活用している。 b:宋の統治体制とその社会や文化の特色を、東アジア文化圏の統合力の変化という視点から考察し、文章にまとめる。 c:モンゴルの侵攻を乗り越えて中国との交易を続けた日本の動向について、関心を持って学習しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業観察
	東アジア世界の動向	中華帝国を再現した面疔の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。	a:日本や女真を中心とした東アジアの状況の変化に関する基本的な知識を身に付けている。 b:明朝が近隣諸国との間に築き上げた冊封＝朝貢体制の変化を日本や女真などの動向を中心とした東アジアの状況と関連付けて考察し、文章にまとめる。 c:明朝の経済的繁栄と銀経済の進展、科学技術への関心を特色とする文化活動について、関心を持って学習しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業観察
3学期	東アジアの激動	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。	a:アヘン・アロー戦争やロシアの進出により清帝国が動揺し、洋務運動に代表される近代化への取り組みが始まったことに関して、基本的な知識を身に付けている。 b:民衆の結社運動と太平天国の動乱を、アヘン戦争後の社会不安と関連付けて考察し、文章にまとめる。 c: アヘン・アロー戦争や太平天国の乱で清朝の支配が大きく動揺し、近代化への取り組みが始まったことを、関心を持って学習しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度